

6つの対策 その2

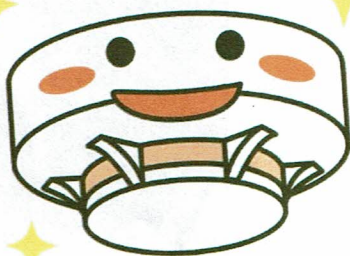
火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、**10年を目安に交換する**



住宅用火災警報器は「いざ!」というときにきちんと働くように、日頃から点検とお手入れを心がけましょう。

機器本体はセンサー等の寿命により交換が必要です。概ね10年を目安に新しい住宅用火災警報器に交換しましょう。

今回、このリーフレットを同封しておりますので、地域の皆様への啓発にご活用ください。



住宅用火災警報器とは

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱を検知し、音や光により警報を発して火災の発生を知らせている機器です。睡眠中や外出時などで火災が発生した際などに有効です。

住宅用火災警報器の**2つのポイント**

ポイント1 設置すること!

消防法により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。
まだ設置されていない住宅には、早急に設置が必要です。

ポイント2 維持管理(交換)すること!

「いざ!」という時にきちんと働くように、日頃から点検とお手入れを心がけましょう。また、住宅用火災警報器の本体は、センサー等の寿命により交換が必要です。概ね10年を目安に、新しい住宅用火災警報器に交換しましょう。

札幌市消防局 SAPPORO FIRE DEPARTMENT